

Zone C コミュニティ

持続可能なコミュニティをコーディネートする
つどい、つながり、新しい価値をつむぐ

Zone C では、持続可能なコミュニティをコーディネートするというテーマで、地域の学習活動を支える公民館主事の方、地域の活性化に取り組む地域の方、そして地域と協働しながら教育活動を展開する教育関係者の方などが集いながら、シンポジウム等で対話を通じて長く探究を続けてきました。

前回までの話し合いのなかで、既存の方法では地域で起きている深刻な問題の解決に結びつかないという現実や、中央主導か伝統保守かといった二者に偏らないアプローチを模索することの必要性を確認してきました。私たちはコロナ禍において、持続可能なコミュニティをコーディネートすることの困難さや大切さに改めて直面していると言えます。コロナ禍でさらに地域に閉塞感が生まれるなか、若者や外部の視点を入れて地域を活性化させていこうという動きが出てきています。

例えば、学校現場においては、地域における課題解決に向けて児童・生徒が主体的に活動をし、学校と地域が一体となって展開する取り組みも進められています。また、人口が減少している地区に異なる視点を持った人たちが入り、その人たちをとりまくネットワークや取り組みが、地域への新たな価値や産業を生み出したりしています。

Zone C では、こうした取り組みを共有し、いかにつながり、つどい、新たな価値を紡いでいくことで、持続可能なコミュニティをコーディネートすることが出来るのか、そうした可能性について対話を通じて探っていきたいと思います。

Connection 12:00-13:00 接続

Orientation 13:00-13:15 主旨説明

Pre-session 13:15-13:30 自己紹介

Session I 13:30-14:40

学校を地域に開くということー社会教育の視点からー

話題提供：福井県立丸岡高等学校 峯森 一浩 氏

コーディネーター：福井大学連合教職大学院：永谷 彰啓・水野 幸郎

14:40-14:50 休憩

14:50-15:00 全体共有

Session II 15:00-16:10

自伐型林業をフックにした「里山起業論」の実践事例

話題提供：一般社団法人こしのくに里山再生の会 松平 成史 氏

コーディネーター：福井大学連合教職大学院：玉木 洋・半原 芳子

16:10-16:20 休憩

16:20-17:00 全体共有及び全体でのセッション

[全体ファシリテーター] (**Session I & II**)：福井大学連合教職大学院 富永 良史